



令和6年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和5年12月13日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL https://www.kin-ei.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)作田 憲彦
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員経理部長 (氏名)藤下 修 (TEL) 06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 令和5年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年1月期第3四半期の業績(令和5年2月1日~令和5年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年1月期第3四半期	2,706	8.7	231	55.3	230	48.6	151	25.3
5年1月期第3四半期	2,488	13.7	149	20.4	154	7.1	120	16.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年1月期第3四半期	54.31	—
5年1月期第3四半期	43.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年1月期第3四半期	5,643	2,444	43.3
5年1月期	5,765	2,319	40.2

(参考) 自己資本 6年1月期第3四半期 2,444百万円 5年1月期 2,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
6年1月期	—	0.00	—		
6年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年1月期の業績予想(令和5年2月1日~令和6年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,510	4.9	210	20.1	210	14.3	125	0.3	44.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年1月期3Q	2,821,000株	5年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	6年1月期3Q	32,770株	5年1月期	32,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年1月期3Q	2,788,315株	5年1月期3Q	2,788,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書関係)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費は持ち直し、企業収益は総じてみれば改善しました。海外景気の下振れや物価上昇、海外情勢、金融資本市場の変動等の影響が懸念されるものの、雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかに回復しました。

この間、当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度のより高いサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理のさらなる徹底を図りましたところ、当第3四半期累計期間の売上高合計は2,706,497千円（前年同期比8.7%増）となり、費用面におきましても、諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は231,601千円（前年同期比55.3%増）、経常利益は230,284千円（前年同期比48.6%増）、四半期純利益は151,433千円（前年同期比25.3%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、“名探偵コナン 黒鉄の魚影（サブマリン）” “ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー” “君たちはどう生きるか” “キングダム 運命の炎” “ミステリと言う勿れ” “THE FIRST SLAM DUNK” “映画ドラえもん のび太と空の理想郷（ユートピア）” などの作品を上映して観客誘致に努めるとともに、周辺商業施設と連携を図るなど販売促進活動に注力しました。また、娯楽場事業におきましては、昨年11月にアポビル4階にG i G Oをオープンし、劇場と一体となった集客を一層推進いたしました結果、収入合計は1,195,050千円（前年同期比20.9%増）、営業原価控除後のセグメント利益は113,127千円（前年同期比158.0%増）となりました。

不動産事業部門におきましては、計画的な設備等更新に取り組み、より安全・快適なビルづくりを推進するとともに、賃貸収入の確保に向けて空室部分への後継テナントの誘致に注力した結果、収入合計は1,511,446千円（前年同期比0.7%増）となり、営業原価控除後のセグメント利益は337,199千円（前年同期比6.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、有形固定資産等の減少等により前期末に比較して122,538千円減少し、5,643,322千円となりました。負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して247,939千円減少し、3,198,369千円となりました。純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して125,401千円増加し、2,444,953千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年1月期の業績予想につきましては、令和5年9月8日に「令和6年1月期 第2四半期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和5年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,622	74,319
売掛金及び契約資産	109,940	107,739
商品	3,823	3,887
短期貸付金	649,111	615,981
その他	55,547	93,544
貸倒引当金	△730	△700
流動資産合計	893,315	894,772
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,715,511	2,612,940
機械及び装置(純額)	41,968	37,614
工具、器具及び備品(純額)	79,664	55,627
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	20,370	-
有形固定資産合計	3,981,263	3,829,930
無形固定資産	31,020	12,047
投資その他の資産		
差入保証金	815,746	850,372
その他	44,514	56,199
投資その他の資産合計	860,261	906,571
固定資産合計	4,872,545	4,748,550
資産合計	5,765,860	5,643,322
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,761	88,817
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	75,000
未払法人税等	36,852	53,267
賞与引当金	8,800	18,600
その他	674,801	454,186
流動負債合計	1,238,215	1,039,871
固定負債		
長期借入金	318,750	262,500
退職給付引当金	60,451	64,529
受入保証金	1,533,934	1,541,468
資産除去債務	290,000	290,000
その他	4,957	-
固定負債合計	2,208,093	2,158,498
負債合計	3,446,309	3,198,369

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和5年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,838,166	1,961,715
自己株式	△111,508	△112,003
株主資本合計	2,315,013	2,438,068
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,537	6,884
評価・換算差額等合計	4,537	6,884
純資産合計	2,319,551	2,444,953
負債純資産合計	5,765,860	5,643,322

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和4年2月1日 至 令和4年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和5年2月1日 至 令和5年10月31日)
売上高	2,488,836	2,706,497
営業原価	2,127,967	2,256,169
営業総利益	360,868	450,327
一般管理費	211,758	218,725
営業利益	149,110	231,601
営業外収益		
受取利息	1,234	1,405
受取配当金	194	204
違約金収入	6,998	759
雑収入	2,661	602
営業外収益合計	11,088	2,971
営業外費用		
支払利息	5,206	4,278
雑支出	4	10
営業外費用合計	5,210	4,288
経常利益	154,988	230,284
特別利益		
休業等の要請に伴う協力金	※1 23,320	-
特別利益合計	23,320	-
特別損失		
固定資産除却損	3,552	7,111
特別損失合計	3,552	7,111
税引前四半期純利益	174,756	223,172
法人税、住民税及び事業税	55,658	79,028
法人税等調整額	△1,803	△7,288
法人税等合計	53,855	71,739
四半期純利益	120,900	151,433

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※1 休業等の要請に伴う協力金

前第3四半期累計期間(令和4年2月1日から令和4年10月31日まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた大阪府からの休業等の要請に応じたことによる協力金を、休業等の要請に伴う協力金として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(令和4年2月1日から令和4年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	896,071	—	896,071	—	896,071
ビル共益費等収入	—	292,920	292,920	—	292,920
娯楽場及びその他事業収入	92,173	18,726	110,899	—	110,899
顧客との契約から生じる収益	988,244	311,647	1,299,891	—	1,299,891
その他の収益	—	1,188,944	1,188,944	—	1,188,944
外部顧客への売上高	988,244	1,500,591	2,488,836	—	2,488,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	988,244	1,500,591	2,488,836	—	2,488,836
セグメント利益	43,852	317,016	360,868	△211,758	149,110

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(令和5年2月1日から令和5年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	1,035,388	—	1,035,388	—	1,035,388
ビル共益費等収入	—	293,788	293,788	—	293,788
娯楽場及びその他事業収入	159,662	18,729	178,392	—	178,392
顧客との契約から生じる収益	1,195,050	312,518	1,507,569	—	1,507,569
その他の収益	—	1,198,927	1,198,927	—	1,198,927
外部顧客への売上高	1,195,050	1,511,446	2,706,497	—	2,706,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,195,050	1,511,446	2,706,497	—	2,706,497
セグメント利益	113,127	337,199	450,327	△218,725	231,601

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。